

原発関連の動き

(赤：国外関連、青：地震など関連情報、緑：事故など)

「2021 月 2 月」

2021年

- 2月1日 日本時間午前4時05分ごろ、南米ガイアナでマグニチュード5.9の地震が発生した。
- 2月1日 東海第二原発事故に備えた広域避難計画をめぐり、30キロ圏内からの避難者を受け入れる避難所が不足している問題で、茨城県は「現段階でも避難先となる県内4市で、計約6900人分の不足が解消していない」とした。
- 2月1日 23時30分ごろ、徳島県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.0と推定。徳島県徳島市、阿南市、美馬市、勝浦町、佐那河内村、石井町で震度3。
- 2月2日 午前3時01分ごろ、栃木県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.0と推定。栃木県日光市で震度4。
- 2月2日 高浜原発1・2号機の再稼働に高浜町が同意したが、福井県の杉本知事は再稼働の判断には関西電力が使用済み核燃料の中間貯蔵施設の県外候補地を示すことが前提だと強調し、慎重な姿勢を示す。
- 2月2日 核燃料再処理で生じる高レベル放射性廃棄物最終処分への理解を求めて、経済産業省が全国の自治体向けに説明会を開始した。初日は東北と関東の自治体が対象。
- 2月3日 日本時間午前5時49分ごろ、フィジーでマグニチュード5.8の地震が発生した。
- 2月3日 愛媛県議会が、防災減災・エネルギー対策特別委員会を開催した。伊方原発の使用済み核燃料を保管する乾式貯蔵施設の位置付けに関し、参考人の山田研二・四国電力原子力本部長は「青森県六ヶ所村の再処理工場への搬出を前提とした一時的な保管施設だ」と強調した。
- 2月3日 九州電力は、玄海原発の工事を請け負う会社で新型コロナウイルスの感染者が確認されてきたことを受け、請負会社の社員約2500人が出勤待機とし、3号機の使用済み核燃料の貯蔵容量を増やす「リラッキング」と、定期検査中の4号機の一部の工事が中断していると説明した。
- 2月4日 12時40分ごろ、茨城県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。茨城県日立市で震度3。
- 2月4日 カムチャツカ半島沿岸でマグニチュード4.9の地震が発生した。

- 2月4日 梶山弘志経済産業相が衆院予算委員会で、福島第一原発の処理水の処分方針を巡り、「ある時期には責任を持って決断しなければならない」と述べた。
- 2月5日 女川原発で2月上旬に実施する予定だった原子力総合防災訓練について、小泉信次郎進担当大臣が、新型コロナウイルスの感染状況を踏まえ3月末までは、実施しないことを明らかにした。
- 2月5日 富岡労働基準監督署は、福島第一原発で2019年8月、構内でタンクの解体作業に従事し3か月に1回、内部被ばく線量の測定を義務付けられていたにも関わらず、別の作業員にいわゆる「替え玉」で測定を受けさせ、法定の線量測定を受けなかった疑いで、東京都の建設会社とこの会社の工事部長を書類送検した。
- 2月6日 午前4時10分ごろ、宗谷地方北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。北海道上川中川町で震度3。
- 2月6日 柏崎刈羽原子力発電所中央制御室に、去年9月20日、東電社員が不正に入った問題で、東京電力は入室の翌日、原子力規制庁に報告していた。しかし、規制庁からトップの原子力規制委員長にこの報告が上がったのは今年に入ってからで、報告が規制庁で止まっていたということになる。
- 2月6日 福島第一原子力発電所3号機の使用済み燃料プールから核燃料を取り出す作業が再開された。事故で一部が変形し、引き上げることができなかった核燃料を特別な装置を使って取り出す予定。
- 2月7日 日本時間13時22分ごろ、フィリピンでマグニチュード6.3の地震が発生した。
- 2月7日 原発や自然エネルギーについて自分ごととして考える松江市の市民会議に河野行政改革担当大臣がオンラインで参加し、「今、世界的には再生可能エネルギーがおそらく一番コストが安くなっている。むしろこれから原子力発電所を作ったら、とてもそのコストが再生可能エネルギーに太刀打ちできないだろうと思う」とエネルギー転換の必要性を語った。
- 2月7日 九州電力が、玄海原発の工事請負会社で、新型コロナウイルスの感染者が確認されたことを受けて中断していた4号機の定期検査や工事を9日から順次再開すると発表した。
- 2月7日 ウェールズ行政府は日立製作所が昨年撤退を決めたアングルシー島のホライズン原子力発電プロジェクトについて、日立側に行政府への引き継ぎを求めている。行政府が、新たな投資家が現れるまでのつなぎの役割を担う。
- 2月8日 9月20日、柏崎刈羽原発7号機で、社員が他人のIDカードを使い、不正に中央制御室に入室した問題で、東京電力が原子力規制庁に報告した2

日後に原子力規制委員会が「保安規定」を了承していた。しかし、規制委員会がこの問題を把握したのはその4か月後のこと。

- 2月8日 九州電力が、玄海原発から出た低レベル放射性廃棄物、200リットルのドラム缶1720本分を、青森県六ヶ所村の日本原燃の埋設センターに19日までに運び込むと発表した。
- 2月9日 福島第一原発事故で避難指示が出された福島県川俣町山木屋地区の住民らが、東電に慰謝料などの損害賠償を求めた訴訟の判決で、福島地裁いわき支部の名島亨卓裁判長が、総額約6億円を支払うよう東電に命じた。
- 2月10日 原子力規制委員会の更田豊志委員長が、東京電力社員による柏崎刈羽原発でのセキュリティー上の不正行為を把握しないまま、同原発の審査で安全管理について定めた「保安規定」を了承していた問題で「セーフティーとセキュリティーは異なる」と述べ、審査をやり直さない考えを示した。
- 2月12日 関西電力の森本孝社長が、使用済み核燃料を保管する中間貯蔵施設の候補地を2023年までに福井県外の候補地を確定させる方針を示した。
- 2月12日 泊原発の再稼働に向けた原子力規制委員会の審査は、敷地内にある断層が「活断層」かどうかの判断に結論が出ず継続となった。
- 2月12日 日本時間午前6時9分ごろ、カムチャツカ半島のペトロパブロフスク=カムチャツキー市近くでマグニチュード4.7の地震が発生した。
- 2月13日 インド、特にニューデリー近郊でマグニチュード6.1の地震が発生した。
- 2月13日 タジキスタンでマグニチュード6.7の地震が発生した。
- 2月13日 むつ市が、使用済み核燃料の中間貯蔵施設を電力各社で共同利用する案を、関西電力が選択肢の一つとして福井県に示したことに対し「共用化を認めた事実はない」とするコメントを発表した。
- 2月13日 「2021年 福島県立医科大学『県民健康調査』国際シンポジウム」が、13、14日、同大学主催で行われた。
- 2月13日 19時52分ごろ、山梨県中・西部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.6と推定。山梨県北杜市で震度3。
- 2月13日 23時08分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは7.1と推定。宮城県蔵王町、福島県相馬市、国見町、新地町で震度6強、宮城県石巻市、岩沼市、登米市、川崎町、亘理町、山元町、福島県福島市、郡山市、須賀川市、南相馬市、伊達市、本宮市、桑折町、川俣町、天栄村、広野町、楡葉町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町で震度6弱、宮城県青葉区、宮城野区、若林区、塩竈市、白石市、名取市、角田市、栗原市、東松島市、大崎市、大河原町、村田町、柴田町、丸森町、松島町、七ヶ浜町、利府町、大郷町、大衡村、涌谷町、美里町、福島県いわ

き市、白河市、二本松市、田村市、大玉村、鏡石町、猪苗代町、泉崎村、中島村、矢吹町、玉川村、浅川町、小野町、富岡町、葛尾村、飯舘村、栃木県高根沢町、那須町で震度5強、そのほか、東北・関東・甲信越など広域で震度4～3。

2月13日 23時36分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.7と推定。福島県相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、国見町、楡葉町、双葉町、浪江町、新地町で震度3。

2月13日 23時51分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.1と推定。宮城県石巻市、名取市、角田市、岩沼市、大河原町、丸森町、亶理町、山元町、福島県福島市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、相馬市、二本松市、田村市、南相馬市、伊達市、本宮市、国見町、大玉村、鏡石町、天栄村、泉崎村、棚倉町、玉川村、古殿町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町、葛尾村、新地町で震度3。

2月14日 午前3時25分ごろ、岩手県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.1と推定。岩手県宮古市、大船渡市、遠野市、一関市、釜石市、矢巾町、住田町、大槌町、山田町、宮城県石巻市、気仙沼市、登米市、栗原市、大崎市、南三陸町で震度3。

2月14日 東京電力が、地震の揺れにより福島第一原発5、6号機の各原子炉建屋の上部にある使用済み核燃料プールから少量の水があふれ出たと発表した。建屋外への流出は確認されておらず、外部への影響はないという。

2月14日 震度6強の地震に伴い、広い範囲で停電が発生し、東京電力と東北電力管内では、一時およそ95万戸が停電した。山形新幹線と秋田新幹線は終日運転を見合わせ。常磐道で、いわき中央インターチェンジから亶理インターチェンジの間で上下線通行止めになっているほか、東北道、磐越道、東北中央道の一部区間で通行止めになっている。

2月14日 女川原発に異常はないと東北電力が発表。宮城県内約3200戸で停電が発生した。

2月14日 東京大地震研究所の古村孝志教授(地震学)によると、13日夜に発生したマグニチュード(M)7.3の強い地震は、地殻を東西に圧縮する力が働き、断層が上下方向にずれ動いた「逆断層型」の地震と推定する。「40年周期で大きい地震が頻発している地域であり、東日本大震災を引き起こした地震がなくても、今回の地震が起きていた可能性もある。『余震』だからたいしたことはない、と楽観してはいけない」と話す。

- 2月14日 東京電力が、福島第二原発でも1号機の使用済み核燃料プールから少量の水がこぼれ出ていたと発表した。いずれのプールにも核燃料が入っていたが、冷却への影響はなかった。漏れた水は屋外に流れ出ていない。
- 2月14日 16時31分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.2と推定。福島県相馬市、南相馬市、大熊町、双葉町、浪江町で震度4、宮城県石巻市、名取市、角田市、岩沼市、柴田町、川崎町、丸森町、福島県福島市、郡山市、いわき市、白河市、須賀川市、二本松市、田村市、伊達市、本宮市、国見町、川俣町、大玉村、鏡石町、天栄村、泉崎村、中島村、玉川村、浅川町、小野町、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、葛尾村、新地町、飯舘村で震度3。
- 2月15日 福井県美浜町、戸嶋秀樹町長は、運転開始から40年を超えた美浜原発3号機の再稼働に同意すると表明した。
- 2月15日 福島第一原発事故に伴う除染廃棄物を巡り、福島県の中間貯蔵施設で30年間保管した後、2045年までに県外で最終処分すると法律で定められていることについて、福島県外では8割以上は知らないことが分かった。
- 2月15日 13時28分ごろ、和歌山県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。和歌山県和歌山市で震度4、大阪府岬町で震度3。
- 2月15日 16時31分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.3と推定。宮城県石巻市、角田市、丸森町、山元町、松島町、福島県いわき市、相馬市、田村市、南相馬市、広野町、楡葉町、富岡町、川内村、大熊町、双葉町、浪江町で震度3。
- 2月15日 東京電力が、当初、完了したと発表していた柏崎刈羽原発7号機の安全対策工事について終了していない工事がさらに見つかったと発表。7号機の原子炉建屋内の安全対策工事で消火ポンペを設置するために壁を新設した際、必要な火災感知器の設置を怠っていた。
- 2月16日 日本時間午前7時24分ごろ、カムチャツカ半島でマグニチュード5.2の地震が発生した。
- 2月16日 日本時間午前9時49分ごろ、南太平洋のシェパード諸島にあるバヌアツ共和制国の沿岸でマグニチュード6.7の地震が発生した。
- 2月16日 廃炉が決まった原発(福島第一原発を除く)18基で、計16万トン超の低レベル放射性廃棄物が発生。浜岡原発1、2号機の解体では、50年代にかけ各地で廃棄物が大量発生する。
- 2月16日 韓国外交部の鄭冀溶気候環境科学外交局長と国際原子力機関)のレンティッホ事務次長が協議。福島第一原発の処理済み汚染水に関して、日本

政府の海洋放出計画について透明性と安全性を検証するようIAEAに要請した。

- 2月17日 23時06分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.5と推定。宮城県石巻市、福島県双葉町で震度3。
- 2月18日 午前1時46分ごろ、沖縄本島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.0と推定。鹿児島県知名町で震度3。
- 2月18日 午前3時58分ごろ、愛知県西部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.2と推定。愛知県豊田市、東海市で震度3。
- 2月18日 日本時間午前7時49分ごろ、太平洋のニューカレドニア沿岸でマグニチュード6.1の地震が発生した。
- 2月18日 午後4時20分ごろ、福島第一原発で通信トラブルが発生し、冷却液を冷やす装置の一部が約45分間停止した。
- 2月18日 東京電力が、福島、宮城両県で最大震度6強を観測した地震の影響で、福島第一原発の処理水や浄化途中の汚染水を入れているタンクのうち、少なくとも20基前後の位置が最大5センチ程度ずれていたと発表した。14日午後1時ごろに最初のずれを確認したが「水漏れや設備の損傷ではない」として即時に公表せず「情報が整理できた」として18日に発表した。
- 2月19日 東京電力が、福島第一原発の格納容器内部の水位が低下していると発表。格納容器内部の水位の低下は、1号機で15日から始まり、40cmから70cm程度、3号機は17日から始まり、30cm程度としている。現在も1日数cm水位が低下していて、この傾向が続く場合は、現在、核燃料デブリを冷やすために格納容器に1時間に3トン入れている注水量を増やすなどの対策を検討している。
- 2月19日 福島第一原発事故を巡り千葉県に避難した住民が損害賠償を求めた裁判で、東京高等裁判所は一審が否定した国の責任を認め、東電と合わせて損害賠償の支払いを命じた。判決では、「国が規制権限を行使しなかったことは、事故と因果関係があり、違法」、対策を講じていれば「津波の影響は相当程度軽減され、全電源喪失には至らなかった」とし、国の規制権限不行使と事故の因果関係を認めた。
- 2月19日 東京電力が、1月27日に柏崎刈羽原発の核物質の防護設備1か所を協力企業の作業員が誤って損傷させたと発表した。東京電力は直ちに原子力規制庁に報告したとしている。
- 2月19日 九州電力が、玄海原発の敷地内で使用済み核燃料を保管する「乾式貯蔵施設」に関し、原子炉設置変更許可申請書の補正書を原子力規制委員会に提出した。

- 2月19日 18時11分ごろ、岩手県内陸北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.9と推定。岩手県二戸市で震度4。
- 2月20日 22時23分ごろ、北海道東方沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは5.0と推定。北海道根室市で震度3。
- 2月20日 日本時間 22時23分ごろ、南クリル諸島の太平洋岸でマグニチュード5.1の地震が発生した。
- 2月21日 2月18日に福島第一原発1号機の原子炉格納容器水位に低下が見られたことから、他のパラメータを確認したところ、1号機において2月15日以降、3号機において2月17日以降に原子炉格納容器温度計の一部に低下傾向が見られた。このため、2月18日に関連パラメータを評価していたところ、1、3号機ともに原子炉格納容器水位が低下傾向にあると判断。
- 2月22日 福島地方環境事務所が、福島第一原発事故に伴う放射性廃棄物の仮設焼却施設である安達地方仮設焼却施設(二本松市)、双葉町仮設処理第1、第2施設(双葉町)3カ所が、震度6強を記録した13日深夜の地震で損傷したと発表した。廃棄物の漏えいはないが、復旧には約1カ月かかる見通し。
- 2月22日 午前10時56分ごろ、根室半島南東沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.3と推定。北海道根室市で震度3。
- 2月22日 午前11時57分ごろ、和歌山県北部を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.2と推定。和歌山県和歌山市で震度3。
- 2月23日 16時09分ごろ、伊予灘を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.1と推定。愛媛県西予市、伊方町で震度3。
- 2月24日 福島第一原発3号機に設置されている2台の地震計が故障したままにしてあった件で、梶山弘志経済産業大臣は「原子炉建屋への地震の影響を丁寧に把握することは重要であり、早急に復旧すべきであった」として、対応の改善を指示した。
- 2月25日 フランス原子力安全局が、国内に計56基ある原発のうち、主に1980年代に建設された発電量900メガワットの32基について、耐用年数の規定を、従来の40年から50年に延長することを認めた。
- 2月25日 東京電力が、最大震度6強を観測した地震の影響で、福島第一原発の汚染水や処理水などを保管しているタンク計53基にずれが見つかったと発表した。最大19センチ、漏えいは確認されていない。
- 2月26日 福島第一原発3号機の使用済み燃料プールに保管されていた使用済みと未使用あわせて566体の燃料を専用の輸送用容器に入れる作業が完了。これにより、全ての燃料を取り出す見通しが立ったという。

- 2月26日 電気事業連合会が、プルサーマル発電の利用計画を公表した。震災前に3~4基で実施するとしていた東京電力は、具体的な原発の明示を見送った。
- 2月26日 東京電力が、ID不正と安全対策工事の未完了という失態を起こした柏崎刈羽原発7号機の営業運転の時期を、「6月」から「未定」とする工程変更を原子力規制委員会に申請した。
- 2月26日 国の新規規制基準に適合した日本原子力研究開発機構原子力科学研究所の研究用原子炉「JRR-3」の運転を再開した。1962年に初の国産原子炉として臨界し、最大熱出力2万キロワット。中性子ビームや中性子照射などによる実験で研究者や学生が使用。エンジンの低燃費化、タンパク質の構造解析、がん治療用器具開発など多岐にわたる研究に活用。
- 2月27日 午前0時33分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.4と推定。福島県田村市、楡葉町、浪江町、葛尾村で震度3。
- 2月27日 午前2時04分ごろ、福島県沖を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは4.8と推定。宮城県角田市、福島県田村市、伊達市、新地町で震度3。
- 2月27日 午前6時01分ごろ、トカラ列島近海を震源とする地震が発生。地震の規模を示すマグニチュードは3.5と推定。鹿児島県十島村で震度3。
- 2月27日 福井県高浜町で、高浜原発4号機で事故が起きたと想定し約70人が参加した避難所設営訓練が行われた。
- 2月27日 柏崎刈羽原発7号機で新たに安全対策工事の一部が完了していなかったことが判明した。新たに未完了が判明したのは7号機の原子炉建屋の地下1階と地下2階を貫通する配管の貫通部分の水漏れを防ぐ工事。東京電力が総点検を行っていて未完了の判明はこれで3件目。
- 2月28日 日本時間午前3時59分ごろ、アラスカ半島でマグニチュード5.3の地震が発生した。
- 2月28日 日本時間午前11時16分ごろ、ペルー沿岸でマグニチュード5.5の地震が発生した。
- 2月28日 鹿児島県の口永良部島で21日から火山性地震の多い状態が続き、10日間の回数は150回を超えた。気象庁は、噴火警戒レベルを2から「入山規制」を示す3に引き上げ、火口からおおむね2キロの範囲で大きな噴石と火砕流に警戒するよう呼びかけている。